

南小学校における初動対応シート

場面	対象	地震発生	安全確保	1次避難	安全確認	二次災害	2次避難	安全確認	情報収集 被害状況把握	保護者へ連絡・ 引き渡し	防災拠点機能 <学校に留まってい られる場合>
大地震発生・大津波警報発表	課業中 校長・副校長 地震発生 教職員 児童生徒		◎緊急放送で安全確保の指示 ◎テレビ・ラジオ等で地震・津波警報等の確認と最新情報を入力	地震が収まったら 1次避難場所での避難が危険な場合は、2次避難場所へ ◎統轄本部設置 ◎校長は、校長室(職員室)で指揮 ・緊急放送で全校避難を指示 ◎副校長は、すぐに校庭へ ・デジタル防災無線を携帯(設置校)	◎人数と安否確認 児童生徒→担任→学年主任→副校長→校長 ・周囲の被害状況の把握 ・二次避難の準備・計画 ・負傷者の確認と手当 ・児童生徒の不安緩和 ・病院等の医療機関との連携 <1次避難状況を学校教育事務所へ報告>(1次報告:様式2 FAX等)	二次災害 校舎倒壊・火災発生等	1次避難を省略した場合は、2次避難場所での1次避難で行うべきことを実施する。 ◎安全な場所への避難指示 ・被害状況確認と最新情報を入力 ※事前に避難場所と経路を決めておく 2次避難場所：大岡小学校	◎人数と安否確認 児童生徒→担任→学年主任→副校長→校長 ・周囲の被害状況の把握 ・負傷者の確認と手当 ・児童生徒の不安緩和 ・病院等の医療機関との連携	◎学校教育事務所へ連絡(第1次報告に変更がある場合) ◎区災害対策本部へ連絡 ※デジタル防災無線、FAXの活用 ホームページ・電子メール等を活用した情報発信	◎統轄本部で情報収集 ・学校周辺の被害状況 ・公共交通機関等の運行状況 ・通信手段の開通状況 ・保護者への連絡方法の確認 保護者へ連絡 市域のいずれかで震度5強以上を観測した場合は留め置き	◎区災害対策本部との連携 ◎学校教育事務所との連携 ◎防災拠点運営の協力
			◎的確な指示 ・「防災頭巾をかぶります」 ・「机の下にもぐります」 ・「机の脚をもちます」 ・「机の脚をもちます」 ・「しずかにまちなしよ」 ・「だいじょうぶですよ(安心するような声かけ)」	◎校庭へ避難誘導 ・名簿・引き渡しカード・ホイッスル等の携帯 ・配慮を要する子どもへの対応 ・トイレ、特別教室等に児童生徒が残っていないか確認 災害対策本部設置 救出・救急医療班活動開始 消火・安全点検班活動開始 ◎施設被害状況の把握 ◎危険箇所の立入禁止措置	◎予め定められた場所へ避難誘導 ◎的確な情報を与え、落ち着くように指示 救出・救急医療班活動継続 消火・安全点検班活動継続		◎役割分担に従って行動 ・学校、地域の被害状況把握(安全な場合は通学路等も...) ・ライフライン、公共交通機関の状況 ・負傷者への対応 ・危険箇所の確認と立入禁止の表示 ・不安を訴えている子どもへの対応(養護教諭中心に)	◎引き渡しの手順 ・メール配信による連絡 ・ツイッターによる発信 連絡とれた 連絡とれず、または、危険で保護者の引取が困難な場合 保護者へ引き渡し 留め置き	地域防災拠点マニュアルに沿って協力開始 ・待避場所の確保 ・食糧の確保 ・保護者への連絡継続		
			◎揺れがおさまるのを待つ ・机の下にもぐり、落下物から身を守る	◎落ち着いて移動 ・防災頭巾等で頭部を保護しながら上履きのまま移動 ◎「おかしもち」の約束 おさない かけない しゃべらない もどらない ちかつかない	◎負傷者がいる場合は助け合う ・勝手な行動をとらない ・私語をつつしむ		◎避難場所で静かに待つ ◎指示に従って、帰宅準備を行う	◎下校 ・保護者への引き渡し ・留め置き	・待避場所の確保 ・食糧の確保 ・保護者への連絡		